



8月12日 長崎県三川内焼職人とNY在住長崎県人会が意見交換会を開催 伝統工芸の海外進出を目指して新たな作品価値を創出

初めまして。「モノ」に『モノ以上の価値を』創り出す活動により、HAPPY×PEACEな日常を実現する8PEACE（エイトピース）の代表をしております八木温子と申します。伝統工芸に従事する職人の想いを国内外に発信し、創り手と使い手の顔と顔が見える関係の中で、共に創り想いをつなげることを通じて、現在のスタイルに合った伝統工芸の新たな作品価値の創出に挑んでいます。

この度、2023年8月12日（土）9:00～10:00 オンラインにて、長崎県の伝統工芸である三川内（みかわち）焼の職人、NY（ニューヨーク）長崎県人会の会員、ZESDA、8PEACEの4者間共創による意見交換会を開催します。本イベントは「伝統工芸のオープンイノベーションラボ」として、文化交流だけではなく、ビジネスだけでなく、国際文化交流とビジネスの融合による新しい文化産業振興となる初めての取組になります。



<写真左>三川内焼の3職人/NY長崎県人会代表木下氏/ZESDA代表(NY総領事館勤務)桜庭氏/8PEACE代表八木氏&市川氏、
<写真右>本イベントに参加する3窯元の作品

伝統工芸は、国外市場で2023年から2028年の間に9.1%の経済成長率が見込めるという調査データ（株式会社グローバルインフォメーション 手工芸市場動向調査 2023-2028年の予測）があり、伝統工芸品の海外市場への進出は経済産業省の注力分野の一つでもあります。（経済産業省 令和4年度 経済産業政策の重点 P15）

意見交換会では、ニューヨークに移住し活躍しているNY長崎県人会のメンバーと、使う人が本当に喜び・使うことに幸せを感じることが出来るモノ作りをし、世界展開を志ざしている熱い想いを持つ三川内焼の職人が、ニューヨークの生活スタイルにマッチした工芸品の意見交換を行うことで、新たな伝統工芸作品の創出につながっていきます。

～ イベント概要 ～

- ◆ 名称：Global Collaboration 三川内焼でニューヨークの生活を彩る工芸品を一緒に創る意見交換会
- ◆ 会場：オンライン（Zoom ミーティング）
- ◆ 日時：2023年8月12日（土）9:00～10:00 //日本時間//※当日の状況によって延長する可能性有
- ◆ 内容：NY長崎県人会と長崎の伝統的工芸品三川内焼の響き愛

「伝統工芸のオープンイノベーションラボ-三川内焼を知り、ニューヨークのライフスタイルを知る-」

※ 当日ご取材にお越しいただけます場合は事前に下記【お問い合わせ先】までご連絡くださいませ。

【お問い合わせ先】

8PEACE（エイトピース） 広報窓口:鷺尾 沙緒里（わしお さおり）

TEL: 090-4840-8364

Mail: washio.pr@gmail.com



長崎県の伝統工芸「三川内焼」について

三川内焼は、長崎県佐世保市三川内町で生産される陶磁器で、江戸時代の初期から生産されている伝統的工芸品です。

透き通るような白磁に、繊細な藍色で描いた手描きの絵柄や、優雅な菊飾りを施した技法、厚さ 1mm 弱まで薄くすることで光にかざすと電球のように輝く技法など、献上品を納めるために代々技を磨き、匠の手間暇をおしまない手仕事で作り上げられた「高い芸術性」を宿したテーブルウェア・インテリアが作られています。

現在では 28 窯が活動しています。(佐世保市オープンデータ 三川内焼窯元一覧)



伝統的な三川内焼の手描きの皿

Global Collaboration を行う三川内焼の職人



<写真左>中里太陽 第 18 代平戸洗祥団右エ門窯 窯主。オランダ王国アムステルダムとデルフトにて陶磁器研修。米国での語学留学も経験し、国際教養を身につけ、海外に向けて三川内焼の文化を発信。

主にろくろ成形、細工作業に従事。菊花飾細工では、天草陶石の磁土が乾かないうちに花の形を切り出し繊細な菊の花の表現を得意とする。

代々伝わる技法を受け継ぎつつ、新しい三川内の器づくりに取り組んでいます。

<写真中央>：金氏健多 第 16 代嘉泉窯 窯主。凛とした美しさと極上の温もりを持つ「ましろ」シリーズをシグネチャーとして、香りがたつフォルム、口当たりの良さ

薄さ、そして磁器の強さ、温もりを届ける作品を得意とする。

今なお色褪せない最新の美を宿す芸術三川内焼の山里に残された“日本の誇り”を世界に伝えることを使命として日々精進している。

<写真右>：中里彰志 第 17 代平戸松山窯 窯主継承予定。三川内天満宮に祀（まつ）られる「高麗嬪（こうらいばば）」を祖先とし、三川内焼の職人だけ描くことが許された中国風の髪形や服装をした子供が遊んでいる姿を図像として表現した“唐子（からこ）”の絵柄をはじめ祥瑞（しゅんずい）文様、唐草文様等を描く染付を得意とする。

YouTuber としても活躍し、三川内焼の今を発信している。

愛あるものづくりを軸に共に創り想いを繋げる 8PEACE について



代表の八木は、伝統工芸の職人を祖父に持ち、自身も伝統工芸の売り手・創り手・伝え手を経験しました。現在は結び手として伝統工芸作品の良さだけでなく、創り手の想いと社会を結んでいます。

ディレクターの市川は、エンジニアとして一貫して創り手を経験しており、創り手の目線でモノと社会を繋げています。

広報の鷲尾は、届けるべき人に適切なタイミングで情報発信することに使命感を持つ記者兼プレスとして社会性のある取組と社会を繋げています。

8PEACE は創り手自身や作品に込めた想いを繋げることで、生活を彩る工芸品を使う喜び、そして生活を彩る工芸品を創る喜びの循環と連鎖の実現を目指しています。

ウェブサイト：<https://8peace.net/>

グローバルビジネスをプロデュースする ZESDA について



NPO 法人 ZESDA は、グローバルビジネスをプロデュースする、パラレルキャリア団体です。地方と海外のビジネスを成功させるには、事業家が成功するまで資源を注ぎ続けることが必要です。ZESDA は、人脈（コネ）と情報・経験（チエ）を集める「カレッジ事業」と、集めたコネ・チエを事業家に注ぎ続ける「プロデュース事業」を運営しています。

ウェブサイト：<https://zesda.jp/>

NY 長崎県人会（ばってん会）について



九州全域を対象としたニューヨーク近郊の日本人コミュニティ「NY ばってん会」を母体とし、2017年4月より長崎県人有志により「ニューヨーク長崎県人会」が発足しました。

アメリカのニューヨーク近郊に在住する、長崎にゆかりのある人、長崎が好きな人、お酒が好きな人たちによるコミュニティのための会です。

長崎市に任命された長崎平和特派員。

会長：木下信義

ウェブサイト：<http://battenkai.at-newyork.com/>

Photo : Masaki Hori